

# 大ブレイクするホームページ

# ネタ研研究所



所長: 田口 元

illustration : Ebisu Yoshikazu

大ブレイクする多くの個人ページに共通する人気の秘訣は何だろうか？ 答えは簡単、企画(ネタ)に尽きる。当「ネタ研」は、ホームページ作りの「ネタ」にとことんこだわり、個人ページ作りのサポートを目的として設立された。今回はついに最終回。今回のテーマは「キャリアアップのためのホームページ」。せっかくホームページを作るのだから、将来に役に立つスキルも一緒に磨いてしまおう。当ネタ研がおすすめする、そのようなスキルはズバリ「情報の編集能力」である！

第4回 最終回

## どうせやるなら俺 / 私が編集長！



### キャリアアップは情報の編集から

今回のネタ研は「キャリアアップのためのホームページ」と銘打ってみた。せっかくホームページを作るのだから、将来に役に立つようなスキル(能力)を同時に身につけられれば更新の励みにもなる。ついでに就職活動に有利になったり、昇進したり、いいことがあったりするのには間違いない。では、そのようなスキルって何だろうか？ 当ネタ研が行き着いたスキルは「情報の編集能力」である。

情報過多のこの時代においては、情報だけを集めて「ハイおしまい!」ではラチがあかない。情報なんて誰でも簡単に集められるのだ。この情報とこの情報を組み合わせる「俺(私)はこう思う!」なんてことを語ることができて、はじめて情報に価値が生まれる。どこぞの新聞に載っていた記事を持ち前の

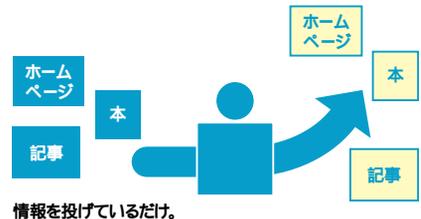
記憶力でそのまま上司にぶつけても「そんなこともう知っているよ!」と言われてしまったら即アウト。目の前にある情報を切り貼りして編集し、「一歩進んだ情報である知識」を創造するスキルがこれからは必要なのだ。

編集というと、ちょっと暗めの雑居ビル、消し忘れた煙草、途切れたままの言葉なんかを思い出してしまうが、当ネタ研では「編集」の意味をもっと広く捉えたい。文章の組み立てだけでなく、考えようによっては普段の日常会話も編集の連続だし、レストランに行って「何を食べようかなぁ」なんて物思いに耽るのも一種の編集作業である。目の前に並べられた材料をいかに組み合わせる価値を生み出していくか、それが当ネタ研でいう「編集」だと考えてもらいたい。

#### キャリアアップの見込める人



#### キャリアアップの見込めない人





# 「動的情報」の編集で勝負せよ!

「情報」と簡単に言えけれど、情報には2種類ある。この分野の権威である今井賢一、金子郁容両氏によると、情報というものは「静的情報」と「動的情報」に分類できる。一般に考えられている「情報」はここで言う「静的情報」で、新聞記事やグラフなどのある一定の形に既に落ち着いているものを指す。一方の「動的情報」とは、「何かこの場合はそういった雰囲気である」などのように一定の形を持たない情報である。雰囲気や文脈、状況などと言い換えてもいいかもしれない。

現在の世の中は「静的情報」の管理に偏り過ぎている。真のキャリアアップを狙うならば誰もがやっている「静的情報」の管理ではなく、「動的情報」の管理に目を向けるべきである。では、どうすればいいのか?

一定の形を持たない「動的情報」を管理し、それを人に伝えるには、「動的情報」を一定の形を持つ「静的情報」に変換していく作業が必要になる。その変換する作業が「情報の切り貼り」であり、「編集作業」なのである。

この編集作業がうまくいこうかが、今後キ



ャリアアップができるかどうか深くかかわってくる。「部長、この情報持ってきました」と言うのと、「部長、この記事がわが社の状況に当てはめると、こういうことが言えそうです!」なんて言うのとでは出世コースが違うってのもんである。せっかく作ってみるホームページ。「俺(私)が編集長になってやる!」ぐらいの気概で編集作業っていうやつを練習してみようではないか。

次ページではこうした「編集長サイト」を、今回も海外の具体的な事例をひきつつ考察してみよう。

今井賢一・金子郁容著『ネットワーク組織論』(岩波書店、1988年)

## 静的情報と動的情報

静的情報



データやグラフなど、一定の形を持つ情報

動的情報



雰囲気や状況など、一定の形を持たない情報

情報の「編集」作業

価値を生む=キャリアアップ

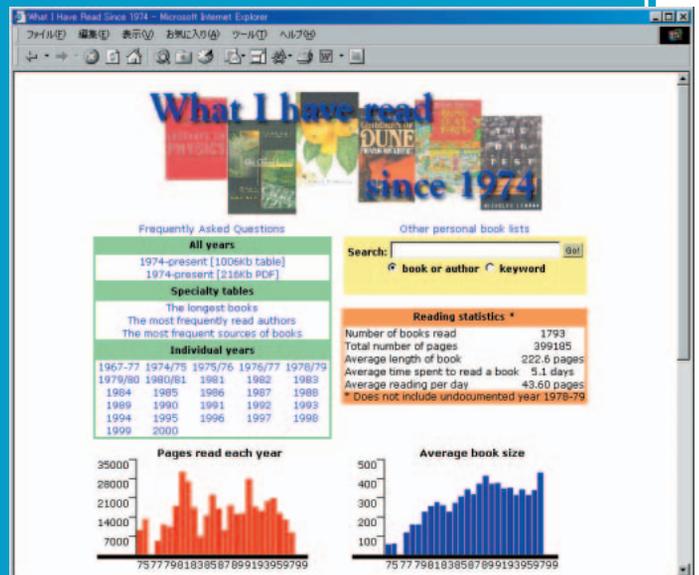
## ネタ研究 # 4

### 究極の編集長サイト

#### 「What I have read since 1974」

[www.csr.utexas.edu/personal/leuliette/fw\\_table\\_home.html](http://www.csr.utexas.edu/personal/leuliette/fw_table_home.html)

今回、編集長サイトを特集しようと思ったのは、このホームページと出会ったからでもある。このホームページは「1974年から今まで私が読んだ本」の情報をまとめている。現在まで続いているので実に25年以上にも及ぶ膨大なデータが整然と編集されている。読んだ本の冊数やページ総数などの基本的な統計から、年ごとに読んだ本の冊数や読んだ本のページ数の分布までちゃんときれいにグラフにされている。今まで読んだ本が1793冊で1冊読むのにかかった平均日数が5.1日、などという単なる数字にも25年分の重みを感じられる。自分が読んだ本について、1冊1冊、その内容をホームページに反映していく。その編集作業を通じて、読んだ本の内容を振り返るとともに着実に自分の知識としていることがうかがえる、典型的な編集長サイトの良例である。



これまで自分が読んだ数々の本について、さまざまな角度からデータ化してある。これぞ「編集」という良い例だ

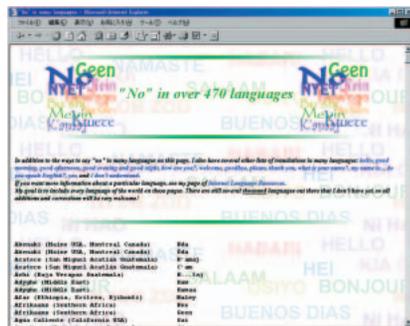


# 世界の「編集長サイト」大集合!

世界中にはすでに自分なりに情報を収集、編集し、ホームページを楽しんでいる人たちがいる。ここではそんな愉快な「編集長サイト」を紹介してみたい。彼らの題材の選び方、編集の切り口を参考にして、ぜひ自分なりの「編集長サイト」に思いを馳せてみてもらいたい。

## ●「いいえ」を多言語で

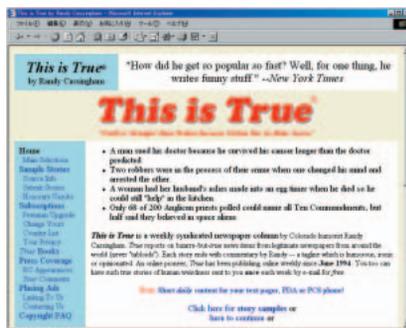
編集長サイトの真髄は「情報を集め、知識とする」ことである。中でも身に着けたい知識の筆頭はやはり言語であろう。このホームページでは「いいえ」という言葉を他の国の言語で言ったらどうなるのだろう? という疑問をもとに、470国以上の言語を調べている。しっかり日本語も調べられていて、しかも「日本語」の中でも「標準語」「熊本弁」「京都弁」「仙台弁」「土佐弁」と分けるといっていいさである。面白いのはすべての情報入手先がインターネットである点だ。もはや図書館通いをしなくても、インターネット上の情報を切り貼りして編集するだけでこんなにすごいホームページができてしまうのだ。



"No" in over 470 languages  
www.elite.net/~runner/jennifers/no.htm  
「いいえ」ばかりか「おはよう」なども多言語で翻訳されている。

## ●嘘のような本当の話

このサイトでは、世界で実際に起こった嘘のような本当の話を収集して、ホームページに仕上げています。「ガンで死ぬかもしれないと宣告された患者が、予想より長く生き延びたために宣告した医者を訴えた」とか「2人組の強盗のうち1人が思い直してもう1人を逮捕した」などのニュースが並び、「本当か?」と思うようなニュースが目白押しである。このホームページに掲載されているニュースはAPやロイターより流れてくるニュースをもとに編集されており、「自分が面白いと思ったものを切り貼りして読者に届ける」という編集長サイトの王道のようなサイトだ。



This Is True  
www.thisistrue.com  
英文だがニュースレターも配信中。

## ●空港で寝るために

編集のもとにする情報はなにも著名なニュースや文献でなくてもよい。自分やホームページを見ている人の経験をうまく編集するのも立派な編集長サイトである。このホームページでは、世界の空港を旅する人より寄せられた「お金がなかったから空港で寝た」ときの経験を集めたホームページだ。見

ればわかるが、空港ごとに「ここは全然だめ、寝れない」とか「ここは寝るには最適」などのアイコンを付けており、集めた情報がわかりやすく編集されている。

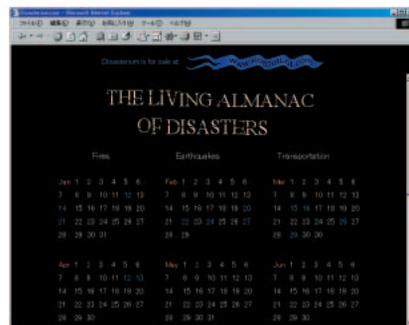


The Budget Traveller's Guide to Sleeping in Airports  
www3.sympatico.ca/donna.mcsherry/airports.htm

お金がないからって空港で寝るのはあまりおすすめではないですが……。

## ●災害があった日はいつ?

どうやって編集したらいいかわからない人は、「カレンダー」を使ってみるのも手である。とにかく「何月何日に何が起こった」を中心に情報をまとめていくのである。これは、奇をてらった編集方法よりも素直にわかりやすいという利点がある。このホームページは「災害」という情報をカレンダーにまとめたものだ。こうすることで、ちょっと物騒な情報ではあるが、災害はほぼ毎日起こっているということに気がされる。災害には普段から気をつけなくちゃ、と思わせることで価値を提供しているホームページである。



Disasterium  
www.disasterium.com  
今日は何が起こった日だっけ? と災害に対する認識を新たにしてくれる。



●今日食べたコーンフレークは何だった？

手間をかけずに編集できるのは「自分が今日何を食べたか」などの自分の日常を赤裸々に語る方法である。このホームページでは、米国では朝食の定番であるコーンフレークについて徹底的に議論している。「このブランドが一番おいしい!!」から始まり、「各ブランドを徹底比較!」など、とにかくコーンフレークという題材について語りまくりである。何かから手を付けていいかわからない人は、編集の材料としてこのように「自分が毎日すること」を取り上げるのがよいかもしれない。



The Empty Bowl  
[www.emptybowl.com](http://www.emptybowl.com)  
 とにかくコーンフレークについて徹底分析!

●この言葉知ってる？

コツコツと細かいながらも長期間をかけて情報を収集・編集し、確実に自分の知識としていけることも編集長サイトの特色である。このホームページでは雑誌や新聞の記事で見た「今まで見たこともない単語」をその記事とともに紹介している。日本の新聞では稀だが、英字新聞ではアメリカ人も知らないような単語が結構ひんぱんに出てくる。このホームページのすごいところは、その編集作業によって、記事を通じて世間動向について知識を深めると同時に、ボキ



ャプラリーも増えていくところだ。理想的な編集長サイトである。

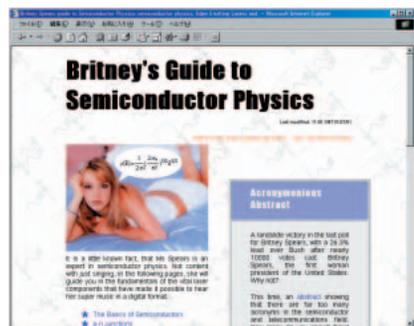


Spizzerintum  
[www.mcs.net/~kvj/spizz.html](http://www.mcs.net/~kvj/spizz.html)  
 今まで見たこともないような単語がずらり.....

●プリトニーが教えてくれる物理学

編集作業によって知識がつかのはわかったけれど、そんな地道な作業はどうも好きになれないという人は、逆に自分の好きなことを無理やり編集作業に組み込んでしまおうのがよいかもしれない。このホームページは米国の超アイドル、プリトニー・スピアーズが好きで好きでしょうがない人(多分)が作成している半導体物理学の説明サイトで

ある。すべての編集作業は「プリトニーは実は物理学の権威だった!」という仮説のもとで行われている。唐突に出てくるプリトニーの写真と難解な公式は見る人には多少の混乱をもたらすが、「作っている人は本当に楽しいのだろうか」と思わせる編集長サイトである。



Britney's Guide to Semiconductor Physics  
[www.britneyspears.ac/lasers.htm](http://www.britneyspears.ac/lasers.htm)  
 プリトニーは実は物理学の権威だった?!

所長(筆者):「百式管理人」  
 田口元

[www.100shiki.com](http://www.100shiki.com)

1日1社、ユニークなビジネスモデルを展開する海外のドットコム企業を紹介するサイト『百式』を運営中。同サイトではコンテンツを無料配信するメールマガジンも展開。先日、日本でもベストセラーの『金持ち父さん、貧乏父さん』に登場する『キャッシュフロー』というボードゲームを輸入。暇を見つけては友人とゲーム大会を都内某所で開催中。ゲームバランスの良さに感嘆しながらも、このゲームを自分の財政状況にあてはめてみると.....なんて考えては空恐ろしくなる毎日。お金増やさなくては。



最終回にあたって

当ネタ研では、いままで4回にわたって、大ブレイクする個人ページのネタについて、海外の具体例をひきながら考察を重ねてきた。この研究結果をもとにぜひ今一度ホームページ作り挑戦してもらいたい。かく言う所長も個人ページを持っているが、ホームページを始めて良かったことを考え出すと本が1冊できてしまいそうな勢いである。個人ページを通じて発想力も豊かになったと思うし(ちょっとだけ)、友達も増え

たし(これはたくさん)、多少なりともキャリアアップにもなった(今年が勝負だ!)。この喜びをぜひ読者のみなさんにも味わってもらいたい。最後に、短い間でしたが連載にお付き合いいただきありがとうございました。当ネタ研に刺激されてこんなのを作ってみたい!なんていうお知らせは大歓迎です。大ブレイクする個人ページが数多く生まれることを祈りつつ.....。



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)